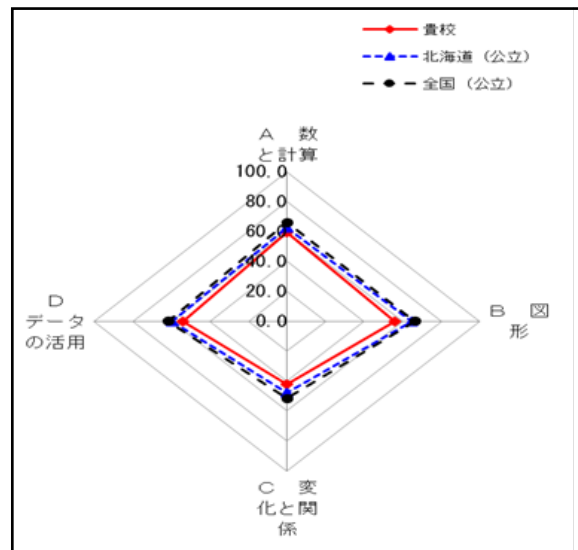
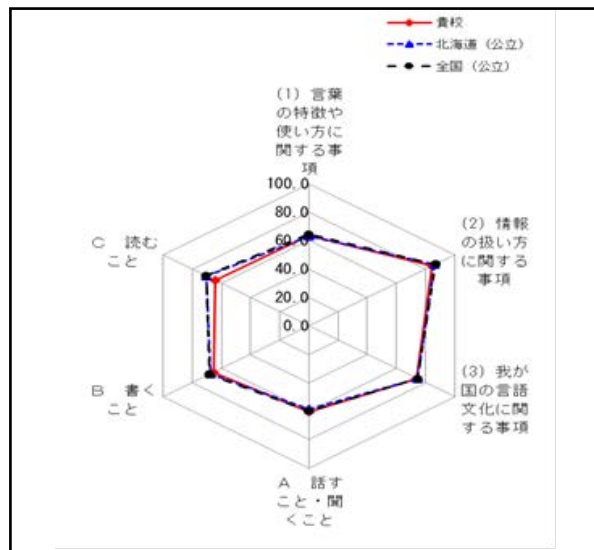




全国学力・学習状況調査の結果に基づく改善等について

- 令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果により本校の成果と課題が明確になりましたので改めてお知らせします。学習習慣や生活習慣の定着は、子どもたちの将来の目標を実現するための基礎的な力となります。ネット環境の拡大によって、ゲーム依存やSNS依存などが社会問題化するなど子どもたちを取り巻く環境は厳しさを増しています。小学校段階で、どのような力を身に付けておくべきかを家庭、学校、地域が協力して示していくことが、より一層重要になってきていると感じています。

【児童質問紙】



【国語】平均正答率は全国・全道をやや下回りました。【算数】平均正答率は全国・全道を下回りました。

◎国語科に限らず、各教科や総合的な学習の時間を通して、多くの情報から必要な情報を見付けて考えたり、対話などで考えを広げ、理解を深めたりする活動を計画的に取りくみます。

◎基本的な知識・技能の定着に課題が見られたため、授業や朝学習、家庭学習などで学び直しの機会を設けていきます。

〈学校での学習について〉

◎主体的な課題解決、考えをまとめたり、広げたりする活動の工夫、総合的な学習を軸にした調べ活動などの点においては、充実していると実感する児童が多いようです。このような活動を通して、より一層学習に対する興味・関心をもつことができるよう、継続した取組を進めてまいります。

〈生活習慣について〉

◎就寝・起床については、規則正しい生活リズムで過ごすことについて課題に感じている児童がいます。朝食については全道・全国を上回っていました。今後も「早寝・早起き・朝ご飯」を心掛けましょう。

〈家庭学習について〉

ほぼ全国と同じくらいの割合で家庭学習の習慣が付いている実態が分かります。内容についても、自分で考え、主体的に取り組んでいる様子が伺え、素晴らしいと感じます。一方で、土日などの休日の学習時間については今後の課題と考えます。

〈友達との関わりについて〉

友達との関わりには戸惑いも見られるようです。学校生活の中で、他者の多様な意見をどう受け止めていくかは今後も重要なテーマです。

〈自分に関することについて〉

将来への希望をもたせたり、自己肯定感を高めたりする活動を設定しながら、毎日の生活が充実したものとなっていくよう支援したいと考えます。